

ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー Aコース（為替ヘッジあり） Bコース（為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版） 第16期

（決算日 2020年5月28日）
（作成対象期間 2019年11月29日～2020年5月28日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期末 (2018年5月28日)	11,520	50	1.0	20,424	4.6	92.6	—	1,473
13期末 (2018年11月28日)	10,919	0	△ 5.2	20,130	△ 1.4	93.5	—	1,131
14期末 (2019年5月28日)	11,317	150	5.0	21,210	5.4	92.8	—	1,079
15期末 (2019年11月28日)	12,243	200	9.9	23,668	11.6	96.3	—	1,094
16期末 (2020年5月28日)	11,444	0	△ 6.5	22,787	△ 3.7	94.8	—	964

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

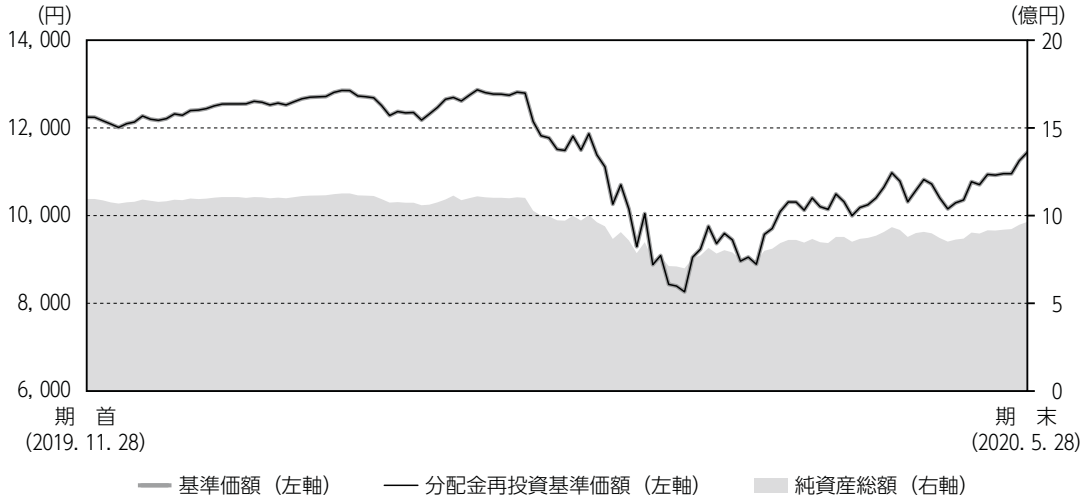
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：12,243円

期末：11,444円（分配金0円）

騰落率：△6.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2019年11月28日	円	%		%	%	%
	12,243	—	23,668	—	96.3	—
11月末	12,242	△ 0.0	23,668	0.0	95.3	—
12月末	12,585	2.8	24,317	2.7	94.2	—
2020年1月末	12,350	0.9	24,644	4.1	92.9	—
2月末	11,511	△ 6.0	22,356	△ 5.5	90.0	—
3月末	9,594	△ 21.6	19,713	△ 16.7	94.1	—
4月末	10,974	△ 10.4	22,061	△ 6.8	93.1	—
(期 末) 2020年5月28日	11,444	△ 6.5	22,787	△ 3.7	94.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28）

■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策法案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

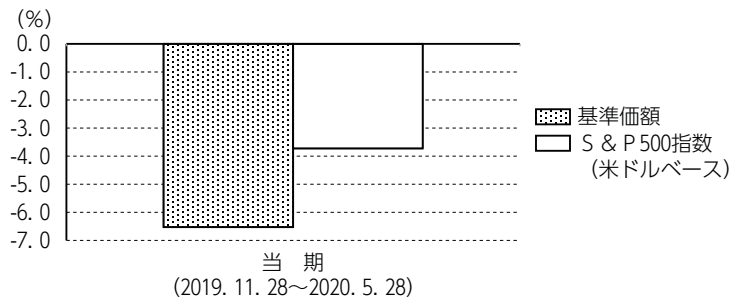
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2019年11月29日 ～2020年5月28日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		1,970

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 11. 29～2020. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	107円	0. 946%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 337円です。
(投 信 会 社)	(61)	(0. 536)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0. 383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 024	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0. 024)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	2	0. 015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	112	0. 986	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

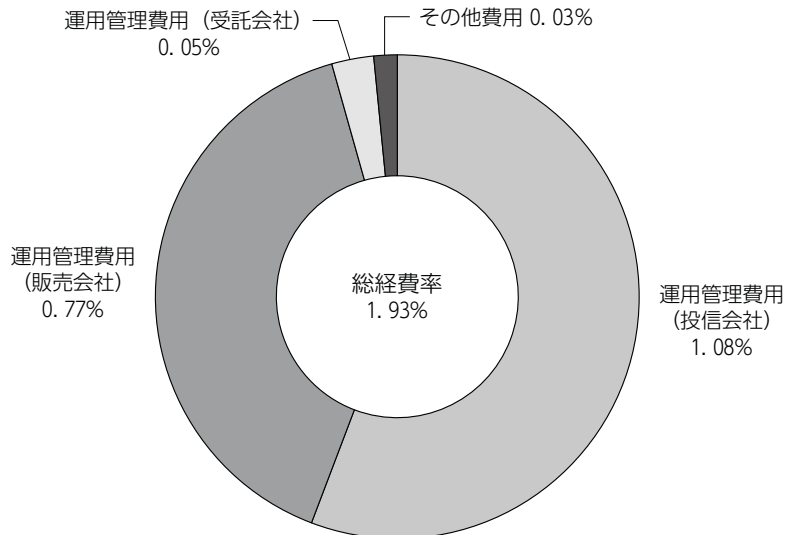
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	18,686	59,000	37,264	134,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,142,969千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,911,210千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.04

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	305,992	287,414	959,360

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	959,360	98.4
コール・ローン等、その他	16,025	1.6
投資信託財産総額	975,385	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.92円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,292,270千円)の投資信託財産総額(4,328,526千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,907,178,907円
コール・ローン等	15,277,257
ダイワ米国厳選株	959,360,245
マザーファンド(評価額)	932,541,405
未収入金	932,541,405
(B) 負債	943,042,409
未払金	933,747,550
未払信託報酬	9,268,157
その他未払費用	26,702
(C) 純資産総額(A-B)	964,136,498
元本	842,490,579
次期繰越損益金	121,645,919
(D) 受益権総口数	842,490,579口
1万口当り基準価額(C/D)	11,444円

* 期首における元本額は894,060,416円、当作成期間中における追加設定元本額は46,938,699円、同解約元本額は98,508,536円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,444円です。

■損益の状況

当期 自2019年11月29日 至2020年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,626円
受取利息	340
支払利息	△ 3,966
(B) 有価証券売買損益	△ 53,391,454
売買益	61,058,511
売買損	△ 114,449,965
(C) 信託報酬等	△ 9,295,040
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 62,690,120
(E) 前期繰越損益金	103,002,869
(F) 追加信託差損益金	81,333,170
(配当等相当額)	(63,021,890)
(売買損益相当額)	(18,311,280)
(G) 合計(D+E+F)	121,645,919
次期繰越損益金(G)	121,645,919
追加信託差損益金	81,333,170
(配当等相当額)	(63,021,890)
(売買損益相当額)	(18,311,280)
分配準備積立金	103,002,869
繰越損益金	△ 62,690,120

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:2,794,013円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	63,021,890
(d) 分配準備積立金	103,002,869
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	166,024,759
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	166,024,759
(h) 受益権総口数	842,490,579□

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

Bコース (為替ヘッジなし)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期末 (2018年5月28日)	11,662	50	0.9	28,135	3.2	93.4	—	4,110
13期末 (2018年11月28日)	11,579	0	△ 0.7	28,809	2.4	93.9	—	3,457
14期末 (2019年5月28日)	11,813	100	2.9	29,229	1.5	92.8	—	3,037
15期末 (2019年11月28日)	12,912	200	11.0	32,563	11.4	95.2	—	2,707
16期末 (2020年5月28日)	11,828	0	△ 8.4	30,929	△ 5.0	94.9	—	2,373

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

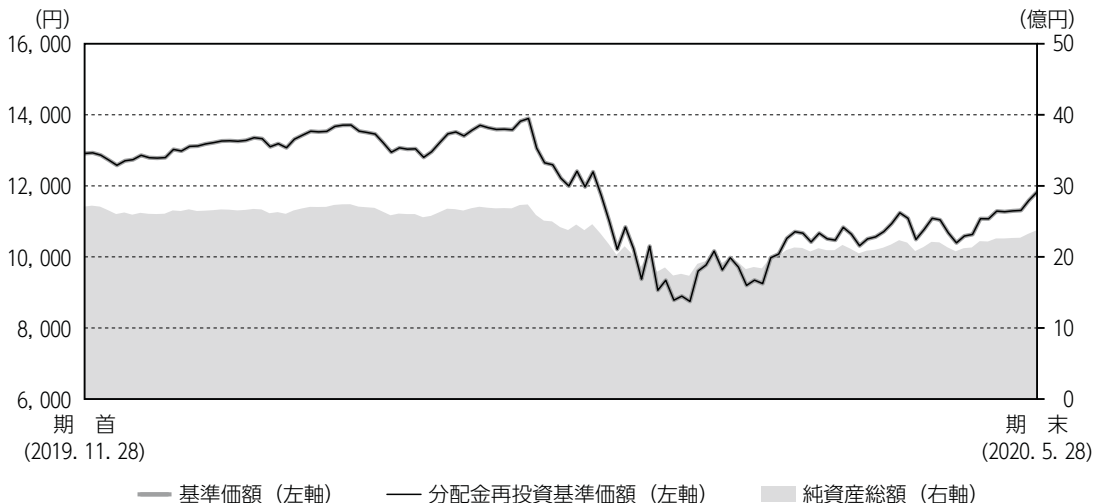
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：12,912円

期末：11,828円（分配金0円）

騰落率：△8.4%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が下落したことや米ドル円為替相場が円高に推移したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2019年11月28日	円	%		%	%	%
	12,912	—	32,563	—	95.2	—
11月末	12,931	0.1	32,614	0.2	95.1	—
12月末	13,326	3.2	33,507	2.9	94.2	—
2020年1月末	13,043	1.0	33,803	3.8	93.6	—
2月末	12,215	△ 5.4	30,769	△ 5.5	91.3	—
3月末	9,977	△ 22.7	26,983	△ 17.1	95.3	—
4月末	11,242	△ 12.9	29,653	△ 8.9	94.8	—
(期 末) 2020年5月28日	11,828	△ 8.4	30,929	△ 5.0	94.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策法案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

■為替相場

米ドルは対円で下落(円高)しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中貿易摩擦懸念の後退などから底堅く推移しました。しかし1月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や都市封鎖に伴う景気見通しの悪化などから、値動きの荒い展開となりました。市場の混乱による米ドル需要の高まりなどから一時的に米ドルが上昇する局面もあったものの、リスク回避の円買いが優勢となり、米ドルは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

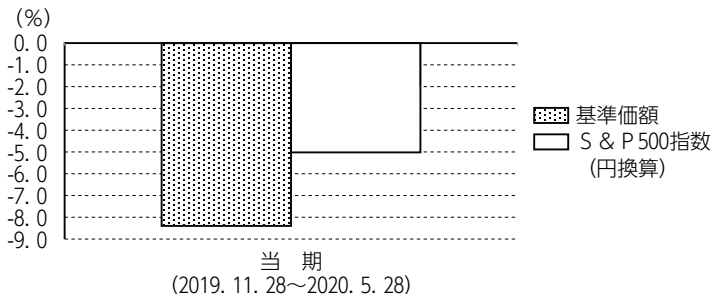
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当たり)

項 目	当期	
	2019年11月29日 ～2020年5月28日	
当期分配金 (税込み)	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,645

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 11. 29～2020. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	112円	0.946%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,867円です。
(投 信 会 社)	(64)	(0.536)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.024	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.024)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	2	0.015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	117	0.987	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

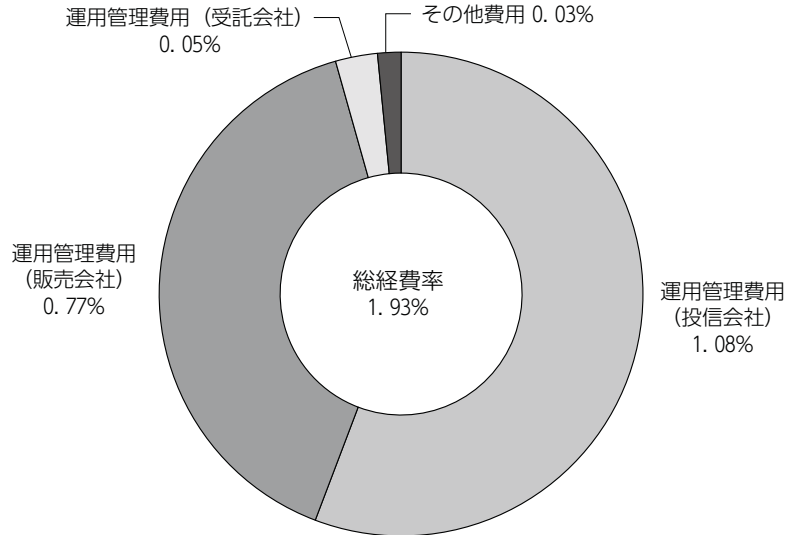
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	17,909	58,000	57,446	206,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,142,969千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,911,210千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.04

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	748,213	708,676	2,365,490

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,365,490	98.7
コール・ローン等、その他	31,076	1.3
投資信託財産総額	2,396,567	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.92円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,292,270千円)の投資信託財産総額(4,328,526千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,396,567,687円
コール・ローン等	31,076,702
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	2,365,490,985
(B) 負債	22,930,046
未払解約金	311,878
未払信託報酬	22,553,083
その他未払費用	65,085
(C) 純資産総額 (A - B)	2,373,637,641
元本	2,006,845,413
次期繰越損益金	366,792,228
(D) 受益権総口数	2,006,845,413口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,828円

* 期首における元本額は2,096,641,463円、当作成期間中における追加設定元本額は160,428,285円、同解約元本額は250,224,335円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,828円です。

■損益の状況

当期 自2019年11月29日 至2020年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,495円
受取利息	385
支払利息	△ 5,880
(B) 有価証券売買損益	△ 174,609,700
売買益	20,418,906
売買損	△ 195,028,606
(C) 信託報酬等	△ 22,618,376
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 197,233,571
(E) 前期繰越損益金	327,014,785
(F) 追加信託差損益金	237,011,014
(配当等相当額)	(203,908,829)
(売買損益相当額)	(33,102,185)
(G) 合計 (D + E + F)	366,792,228
次期繰越損益金 (G)	366,792,228
追加信託差損益金	237,011,014
(配当等相当額)	(203,908,829)
(売買損益相当額)	(33,102,185)
分配準備積立金	327,014,785
繰越損益金	△ 197,233,571

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 6,841,943円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	203,908,829
(d) 分配準備積立金	327,014,785
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	530,923,614
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	530,923,614
(h) 受益権総口数	2,006,845,413口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2020年5月28日)

(作成対象期間 2019年11月29日～2020年5月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

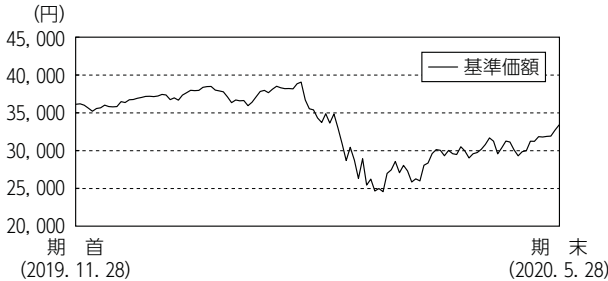
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首) 2019年11月28日	36,124	—	32,563	—	95.4	—
11月末	36,179	0.2	32,614	0.2	95.6	—
12月末	37,350	3.4	33,507	2.9	94.4	—
2020年1月末	36,614	1.4	33,803	3.8	93.8	—
2月末	34,317	△ 5.0	30,769	△ 5.5	91.5	—
3月末	28,039	△ 22.4	26,983	△ 17.1	96.0	—
4月末	31,677	△ 12.3	29,653	△ 8.9	95.5	—
(期末) 2020年5月28日	33,379	△ 7.6	30,929	△ 5.0	95.2	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：36,124円 期末：33,379円 騰落率：△7.6%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が下落したことや米ドル円為替相場が円高に推移したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、

上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策法案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

○為替相場

米ドルは対円で下落 (円高) しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中貿易摩擦懸念の後退などから底堅く推移しました。しかし1月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や都市封鎖に伴う景気見通しの悪化などから、値動きの荒い展開となりました。市場の混乱による米ドル需要の高まりなどから一時的に米ドルが上昇する局面もあったものの、リスク回避の円買いが優勢となり、米ドルは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	8円 (8)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合 計	12

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

外国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	株 数	金 額	株 数
アメリカ	3,768.5 (百株)	19,113 (千アメリカ・ドル)	4,311.4 (百株)	28,109 (千アメリカ・ドル)	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

買 付	当 期			平均単価	売 付	当 期		
	株 数	金 額	平均単価			株 数	金 額	平均単価
ENVISTA HOLDINGS CORP (アメリカ)	57.53	155,745	2,707	ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	1,855	281,319	151,654	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	33.23	140,366	4,224	MOODY'S CORP (アメリカ)	9.61	271,011	28,201	
PINTEREST INC-CLASS A (アメリカ)	95.56	136,072	1,423	GENERAL MOTORS CO (アメリカ)	81.15	220,025	2,711	
WORKDAY INC-CLASS A (アメリカ)	9.415	125,511	13,331	REGENERON PHARMACEUTICALS (アメリカ)	4.27	198,791	46,555	
ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	0.815	125,500	153,988	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN (アメリカ)	15.085	167,335	11,092	
MANPOWERGROUP INC (アメリカ)	16.205	110,815	6,838	NETFLIX INC (アメリカ)	4.165	166,350	39,940	
GENERAL MOTORS CO (アメリカ)	28.915	103,744	3,587	CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	2.765	150,352	54,376	
CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	17.315	98,833	5,707	CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	22.42	139,127	6,205	
HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	7.005	90,557	12,927	AGILENT TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	14.275	130,313	9,128	
AGILENT TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	9.99	88,933	8,902	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	29.12	129,277	4,439	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
MOODY'S CORP	142.04	73.19	1,894	204,409	金融
CITIGROUP INC	311.55	249.45	1,303	140,687	金融
POST HOLDINGS INC	210.8	143.9	1,288	139,099	生活必需品
CATERPILLAR INC	67.6	—	—	—	資本財・サービス
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	370.55	277.6	2,308	249,105	一般消費・サービス
HCA HEALTHCARE INC	100.9	125.25	1,423	153,633	ヘルスケア

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	269.5	226.65	1,953	210,796	ヘルスケア
GENERAL MOTORS CO	522.35	—	—	—	一般消費・サービス
ALPHABET INC-CL C	35.9	25.5	3,615	390,183	コミュニケーション・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	93.95	75.4	1,727	186,455	コミュニケーション・サービス
MANPOWERGROUP INC	—	149.25	1,119	120,851	資本財・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	—	86.9	1,480	159,786	情報技術
CENTENNIAL RESOURCE DEVELO-A	679.75	—	—	—	エネルギー

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円	千円		
LIVANOVA PLC	275.9	235.15	1,300	140,362	ヘルスケア	
PINTEREST INC- CLASS A	—	811.9	1,551	167,442	コミュニケーション	
REGENERON PHARMACEUTICALS	49.75	18.5	1,006	108,612	ヘルスケア	
BOOKING HOLDINGS INC	15.14	12.14	2,062	222,558	一般消費サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	—	530.4	1,128	121,751	ヘルスケア	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	54.35	39.25	2,061	222,429	コミュニケーション	
CBRE GROUP INC - A	532.8	481.75	2,175	234,736	不動産	
NETFLIX INC	66.5	40.2	1,687	182,164	コミュニケーション	
BANK OF AMERICA CORP	665.25	533.85	1,386	149,678	金融	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	484.25	525.35	1,655	178,648	金融	
NATIONAL OILWELL VARCO INC	332.9	267.15	354	38,229	エネルギー	
SCHWAB (CHARLES) CORP	485	361.9	1,342	144,859	金融	
LEAR CORP	139.55	130.8	1,430	154,400	一般消費サービス	
COMCAST CORP-CLASS A	293.85	235.8	941	101,612	コミュニケーション	
ファンド	株数、金額	6,200.13	5,657.23	38,199	4,122,496	
合計	銘柄数<比率>	23銘柄	24銘柄		<95.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	4,122,496	95.2
コール・ローン等、その他	206,030	4.8
投資信託財産総額	4,328,526	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.92円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,292,270千円)の投資信託財産総額(4,328,526千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年5月28日現在

項目	当期末
(A) 資産	4,328,526,482円
コール・ローン等	205,583,291
株式(評価額)	4,122,496,146
未収配当金	447,045
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	4,328,526,482
元本	1,296,774,566
次期繰越損益金	3,031,751,916
(D) 受益権総口数	1,296,774,566口
1万口当り基準価額(C/D)	33,379円

* 期首における元本額は1,614,177,822円、当作成期間中における追加設定元本額は465,991,190円、同解約元本額は783,394,446円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー Aコース(為替ヘッジあり)287,414,316円、ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー Bコース(為替ヘッジなし)708,676,409円、ダイワ米国厳選バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)300,683,841円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は33,379円です。

■損益の状況

当期 自2019年11月29日 至2020年5月28日

項目	当期
(A) 配当等収益	20,674,831円
受取配当金	20,272,911
受取利息	425,248
支払利息	△ 23,328
(B) 有価証券売買損益	△ 477,533,877
売買益	433,972,083
売買損	△ 911,505,960
(C) その他費用	△ 592,739
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 457,451,785
(E) 前期繰越損益金	4,216,800,445
(F) 解約差損益金	△ 1,952,605,554
(G) 追加信託差損益金	1,225,008,810
(H) 合計(D+E+F+G)	3,031,751,916
次期繰越損益金(H)	3,031,751,916

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。